

# 戸籍の窓

【4月1日～4月30日 届出】

## こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥乙	沼澤 真也 明香	梨乃
荒砥乙	相澤 壮 友美	辰樹
山口	青木 光 真美	虹南
畔藤	菅原 勝 綾香	祐雅
畔藤	岡崎 和憲 真智子	妃奈乃
横田尻	丸川 和幸 深雪	幸恵

## お く や み

住所	氏名	年齢
高玉	金田 てい	92
高岡	小関 恒夫	82
荒砥甲	川井 悦子	78
十王	新納 昌代	78
広野	金田 昌子	82
荒砥甲	加藤 俊一	89
鮎貝	白田 左近	95
佐野原	土谷 正司	81
浅立	沼澤 三岐子	65
横田尻	金田 ヒ口	98
横田尻	樋口 靖夫	78
荒砥乙	安藤 勝代	74
鮎貝	村元 キサ	94
下山	奥山 たせ	82
荒砥乙	竹田 睦子	97
浅立	小形 六郎	88
畔藤	菅間 捻七	85

## わたしの夢

### フルートを極め 白鷹町でコンサートを

梅津 桜さん  
山形北高校3年（荒砥乙）



「フルートを始めたきっかけはよく覚えていません（笑）」。

小学校1年生のとき、家に帰ってくると突然「フルートがしたい」と言ったという桜さん。2年生に上がった翌年からフルートを習い始め、中学校2年生のときには本格的に音楽の道へ進むことを決意、県内で唯一音楽科のある山形北高校へ進学しました。

そして、昨年12月に開催された「全国日本クラシック音楽コンクール」にフルート部門で出場。納得のいく結果は残せませんでした。課題は見つかったといいます。「小学生の頃からずっと側にあって、フルートを吹くことが生活の一部になっています。今後は音大に進んで、将来はソロかオーケストラの一員になりたいです。そしていつか白鷹町でコンサートを開くことが私の夢です。」と笑顔で抱負を語りました。

## —— 表紙の写真 ——



4月29日から5月5日まで、道の駅白鷹ヤナ公園あゆ茶屋で開催された「ヤナ開きまつり」。売店からは、アユの塩焼きや豆腐田楽の香ばしい香りが漂い、先着200食限定の山菜汁には長蛇の列ができました。そして子どもたちに大人気だったのが「魚のつかみ取り」。服をびしょびしょに濡らしながら夢中になって楽しむ子どもたちは、あっという間にすべての魚を取りつくしました。

また、5月5日は「こどもの日」ということもあり、ヤナ場の上空を雄大に泳ぐ約150匹のこいのぼりを背景に、記念撮影する親子の姿も。こいのぼりのように大きく、たくましく育ってほしいと思いました。